

最近の金融経済情勢と金融政策運営

— きさらぎ会における講演 —

2017年12月7日

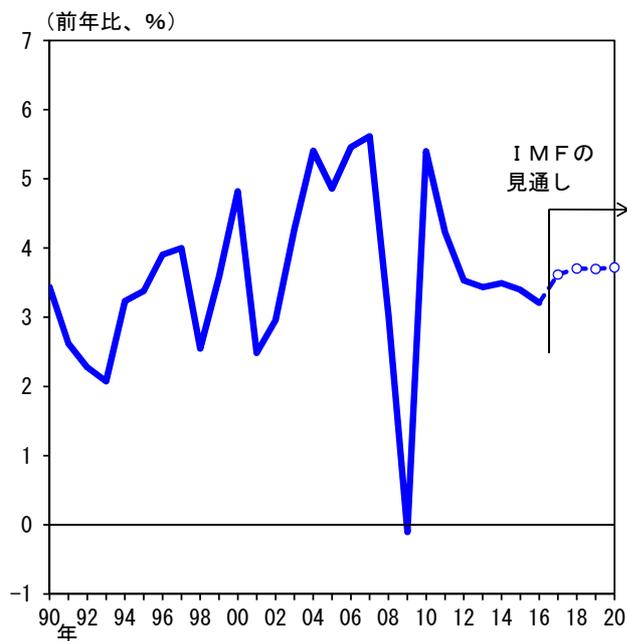
日本銀行総裁

黒田 東彦

図表 1

世界経済

世界経済の成長率の推移



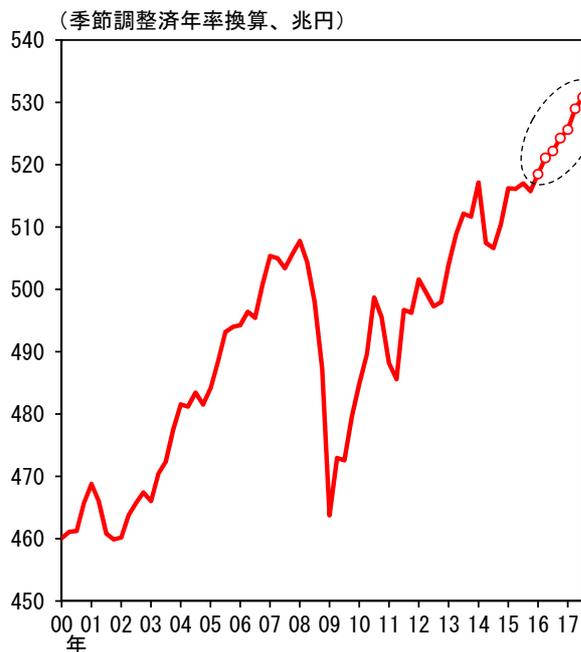
地域別の成長率見通し (17/10月)

	2015年	2016年	2017年 [見通し]	2018年 [見通し]
世界	3.4	3.2	3.6 (+0.1)	3.7 (+0.1)
先進国	2.2	1.7	2.2 (+0.2)	2.0 (+0.1)
米国	2.9	1.5	2.2 (+0.1)	2.3 (+0.2)
ユーロエリア	2.0	1.8	2.1 (+0.2)	1.9 (+0.2)
日本	1.1	1.0	1.5 (+0.2)	0.7 (+0.1)
新興国・途上国	4.3	4.3	4.6 (0.0)	4.9 (+0.1)
中国	6.9	6.7	6.8 (+0.1)	6.5 (+0.1)
ASEAN5	4.9	4.9	5.2 (+0.1)	5.2 (0.0)

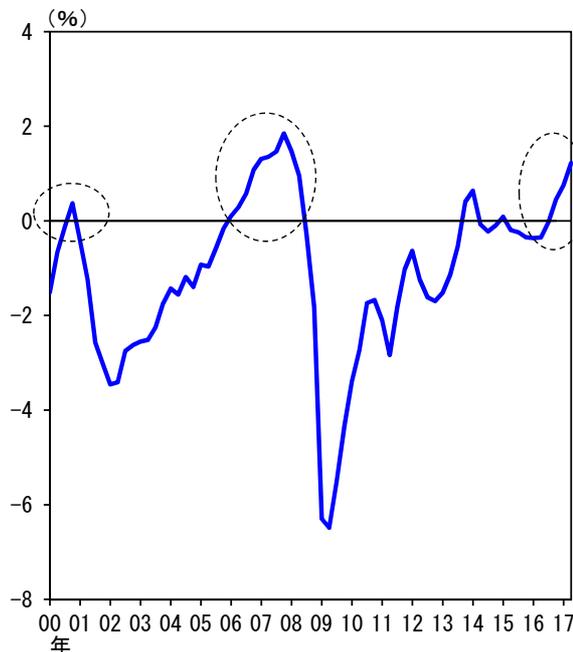
(注) 右図の括弧内は、前回見通し (17/7月時点) からの改定幅。
(出所) IMF

景気回復の足取り

実質GDP



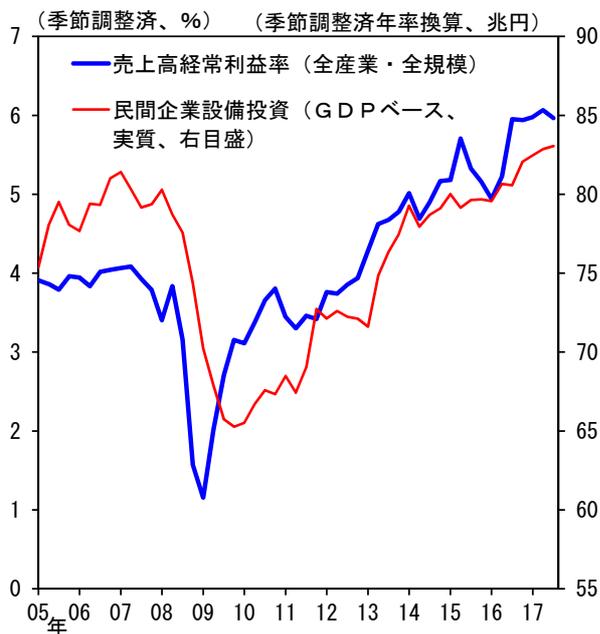
需給ギャップ



(注) 需給ギャップは、日本銀行スタッフによる推計値。
(出所) 内閣府、日本銀行

内需の動向

企業収益と設備投資



個人消費

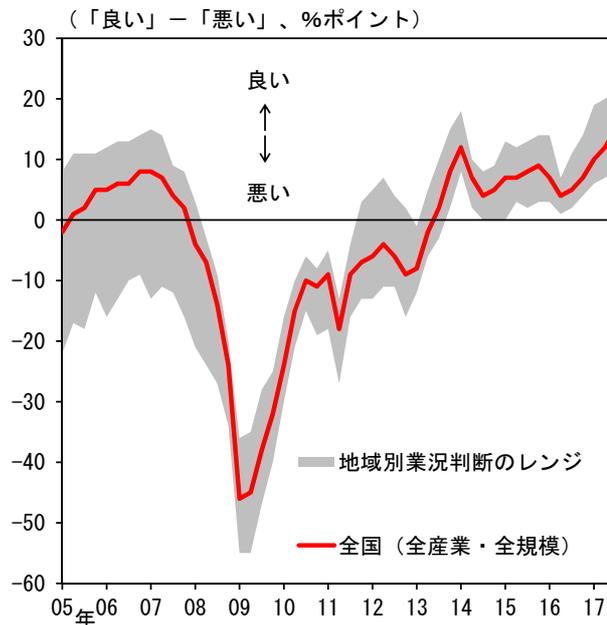
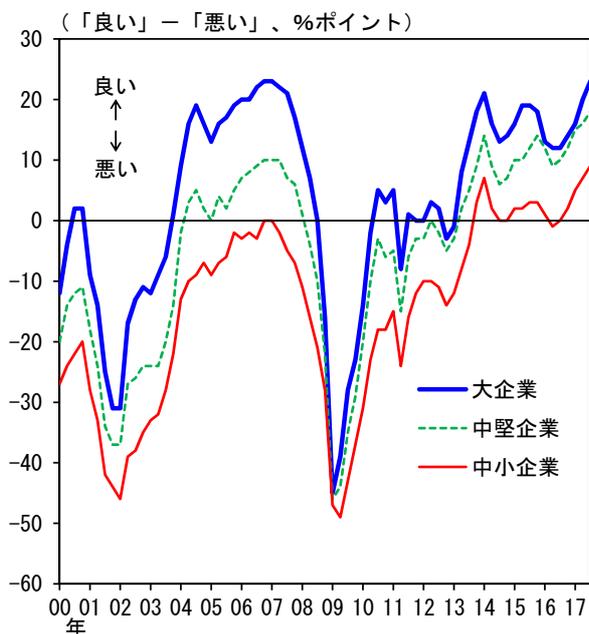


(注) 1. 企業収益は、法人季報ベース。金融業・保険業を除く。
2. 個人消費は、除くインバウンド消費・含むアウトバウンド消費 (日本銀行スタッフ算出)。
(出所) 財務省、内閣府、日本銀行

業況判断D I（短観）

規模別

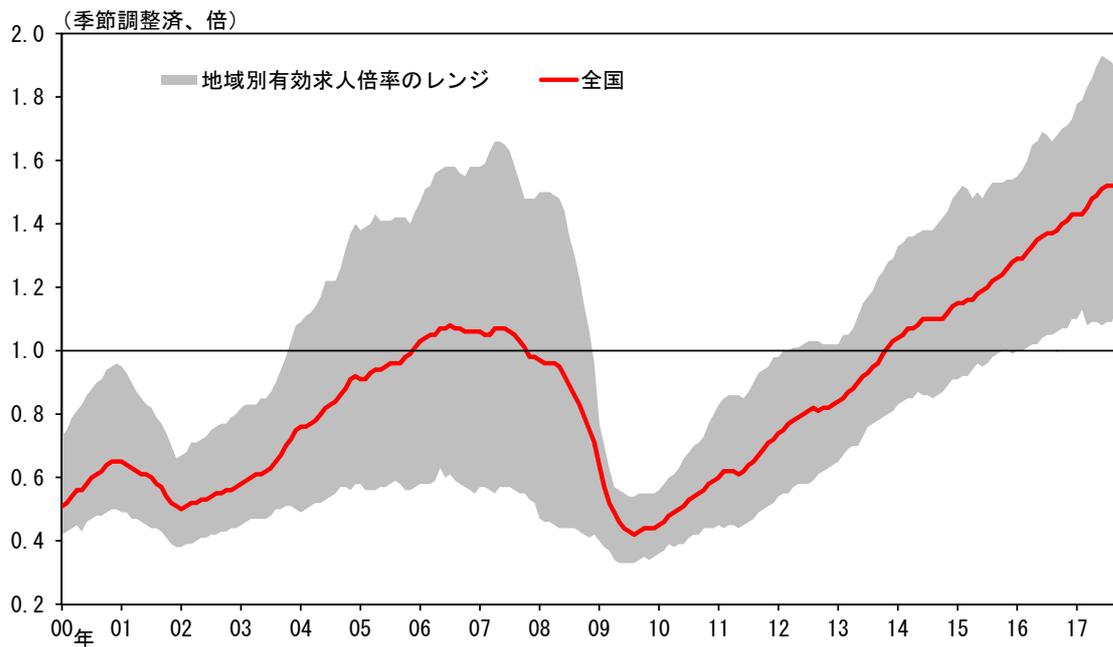
地域別



(出所) 日本銀行

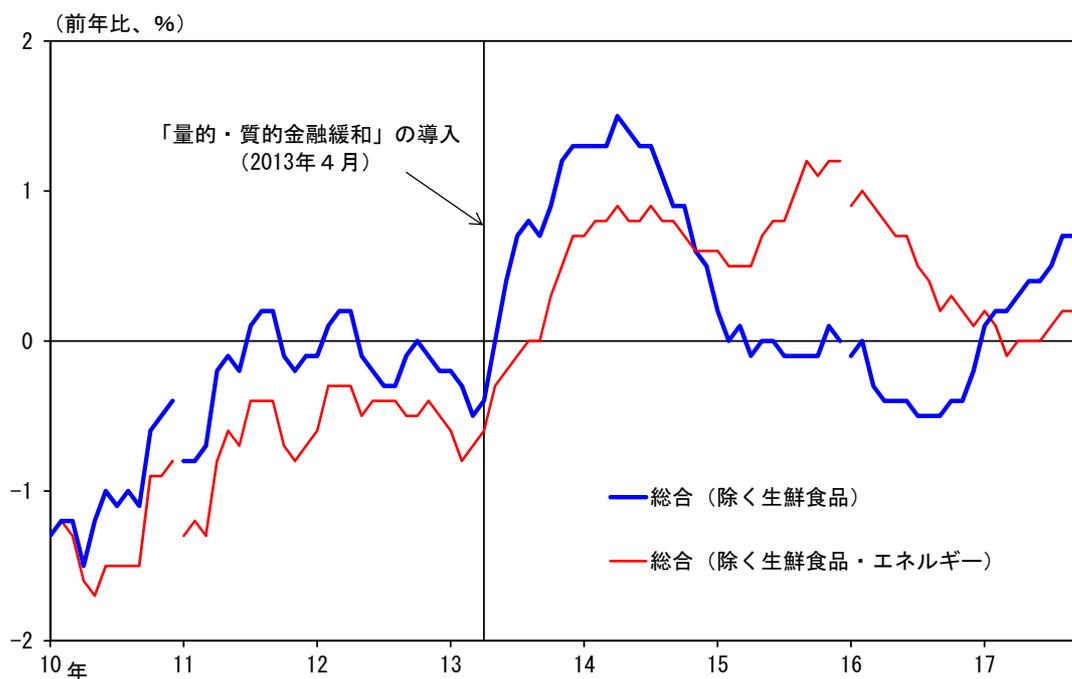
雇用環境

地域別の有効求人倍率



(出所) 厚生労働省、日本銀行

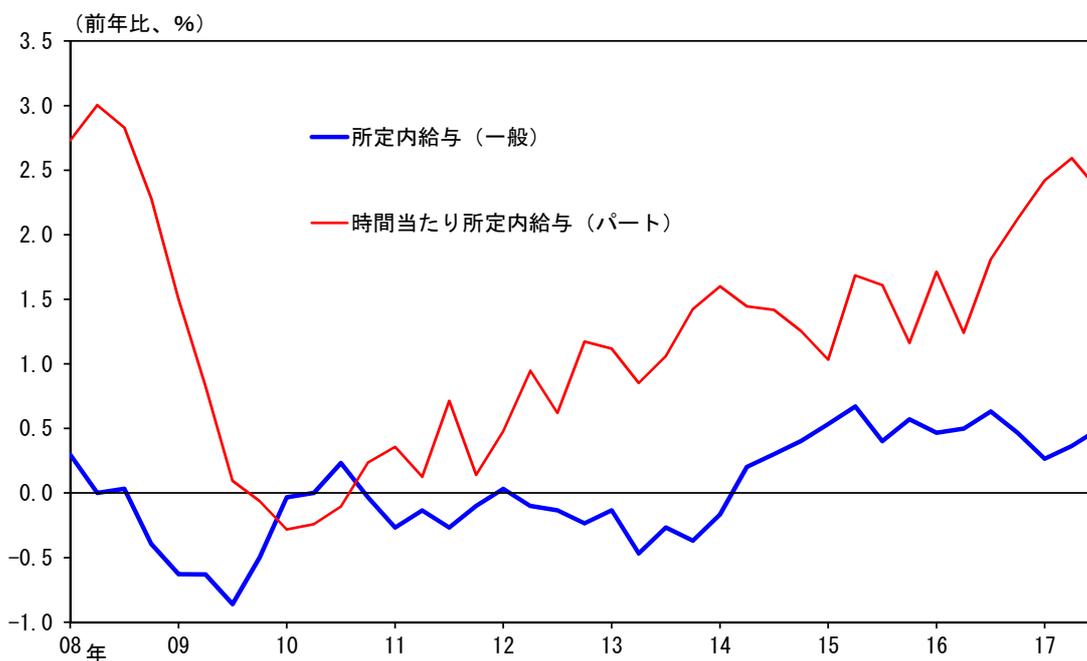
消費者物価



(注) 消費税調整済み。
(出所) 総務省

所得環境

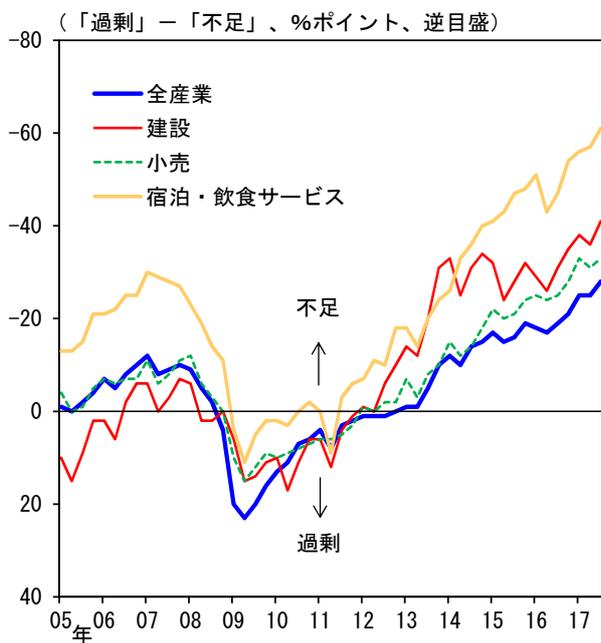
就業形態別の賃金



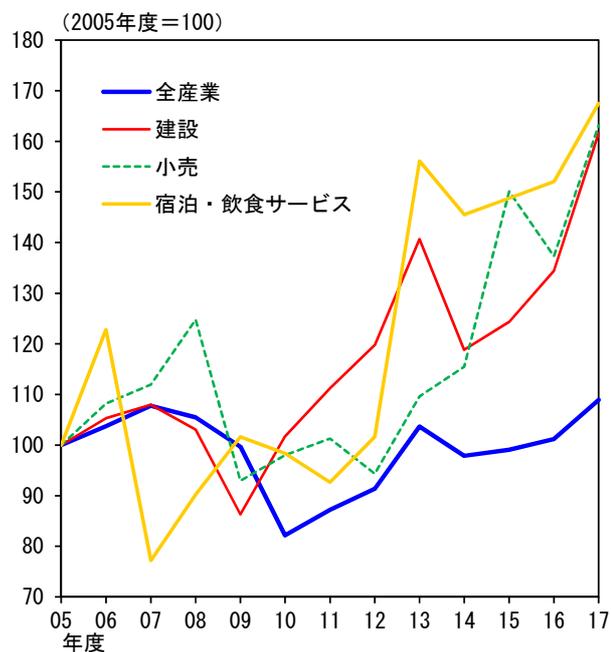
(注) 四半期は、以下のように組み替えている。
第1四半期：3～5月、第2：6～8月、第3：9～11月、第4：12～2月。2017/3Qは、9月の値。
(出所) 厚生労働省

人手不足に対する企業の対応

雇用人員判断DI (短観)



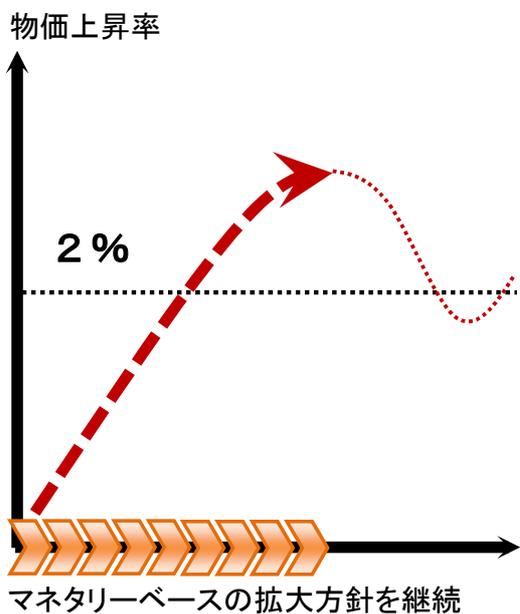
ソフトウェア投資額 (短観)



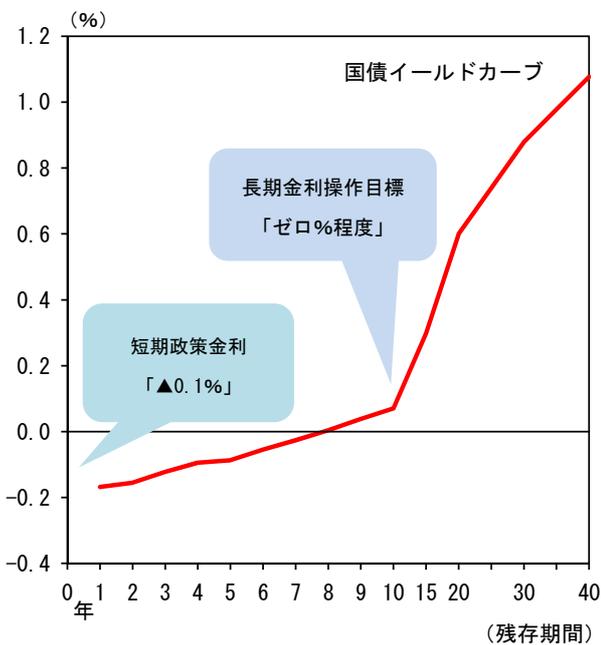
(注) ソフトウェア投資額の2017年度は、2017/9月調査時点の計画。
(出所) 日本銀行

長短金利操作付き量的・質的金融緩和

オーバーシュート型コミットメント

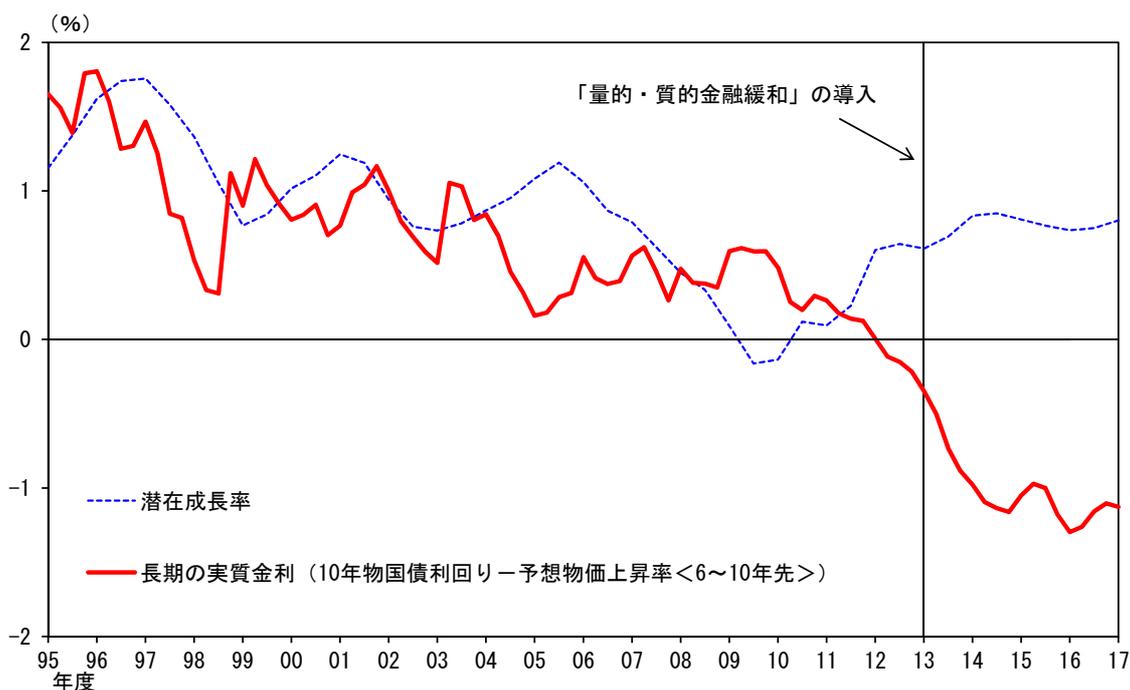


イールドカーブ・コントロール



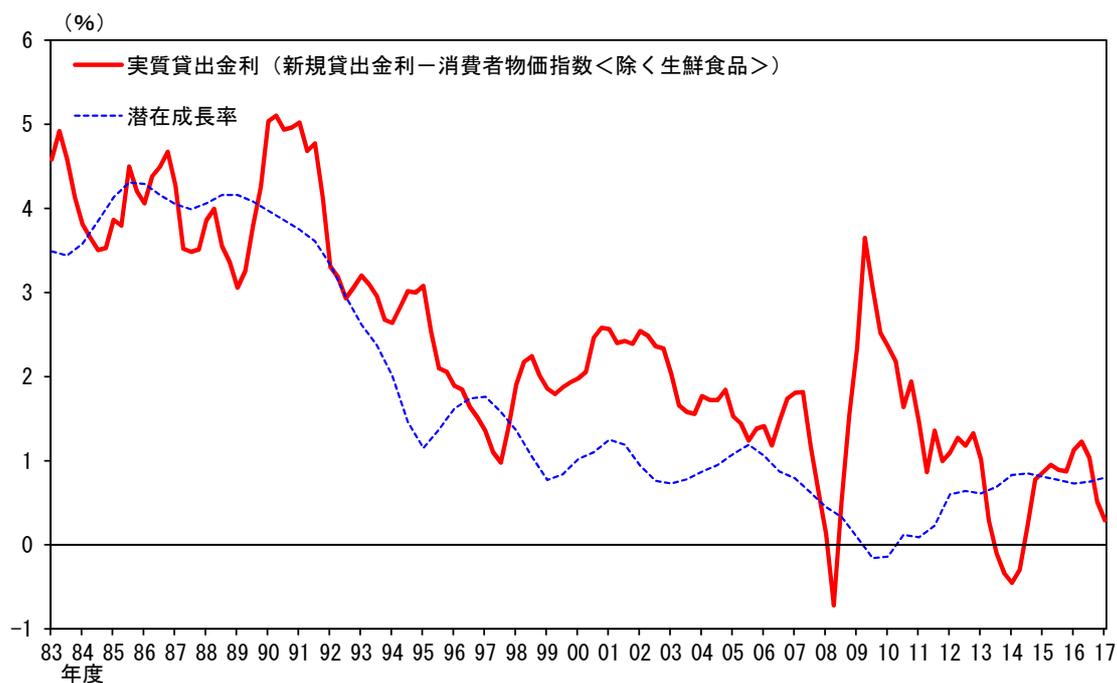
(出所) Bloomberg

長期の実質金利



(注) 1. 予想物価上昇率（前年比、年率平均）は、コンセンサス・フォーキャストの値。
 2. 潜在成長率（前年比）は、日本銀行スタッフによる推計値。
 3. 2017年度は、2017/2Qの値。
 (出所) Consensus Economics「コンセンサス・フォーキャスト」、Bloomberg、日本銀行

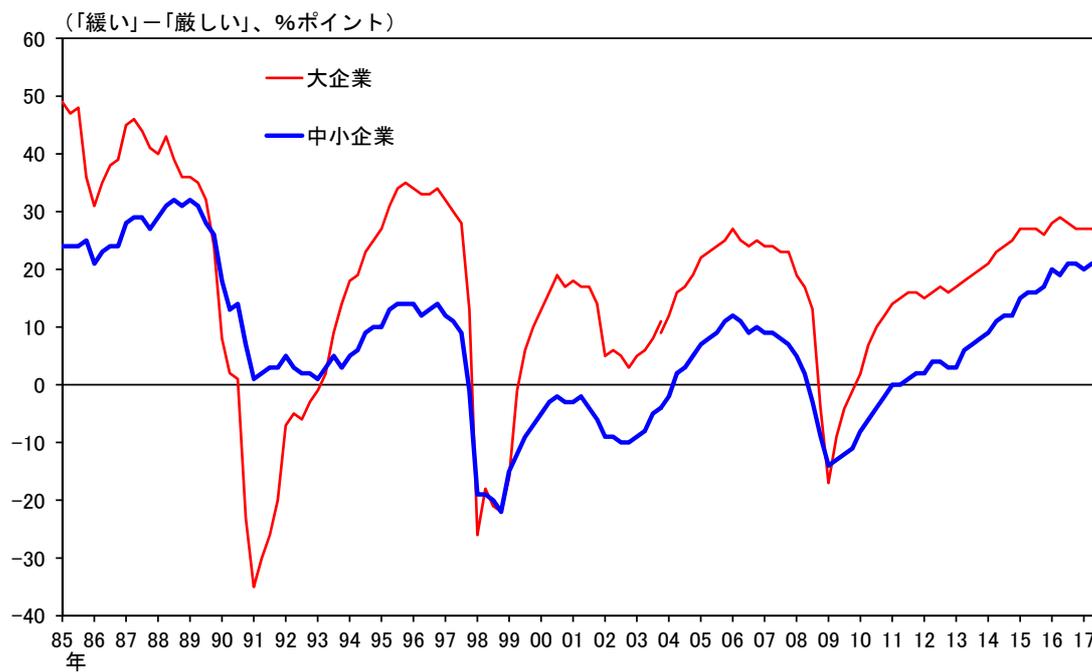
貸出金利



(注) 1. 貸出金利は、新規（総合）ベース。消費者物価指数（前年比）は、消費税調整済み。潜在成長率（前年比）は、日本銀行スタッフによる推計値。
 2. 2017年度は、2017/2Qの値。
 (出所) 総務省、日本銀行

企業金融

貸出態度判断DI (短観)



(注) 2003/12月調査には、調査の枠組み見直しによる不連続が生じている。
 (出所) 日本銀行